

## 在宅生活を支える生協の介護サービス「生協 10 の基本ケア」 重度化予防効果の実証結果を報告

～利用者の自立を重視した介助による心身機能悪化防止効果など 3 点を立証～



日本生活協同組合連合会（本部：東京都渋谷区 略称：日本生協連 代表理事会長：本田 英一）は、2018 年に国庫補助<sup>※</sup>を活用し、介護サービスの質評価に係る研究実績のある研究者らによる多面的な検証によって、生協の介護サービス「生協 10 の基本ケア」の重度化予防の効果を実証しましたので報告いたします。

※平成 30 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）

現在、国の社会保障審議会介護保険部会では、2021 年の介護保険制度改定に向けた論議が進められています。一方で介護現場では、自立支援・重度化予防につながるケアの実践事例が報告されてきているものの、データ収集による厳密な効果検証は十分に行われていませんでした。

在宅生活を支える「生協 10 の基本ケア」は、ならこープが母体の社会福祉法人 協同福祉会が 2006 年から実践してきたケアの方法と考え方を基にして構築した生協の介護サービスです。「生協 10 の基本ケア」では日常生活行為そのものをリハビリと捉え、ケアの提供を通じて在宅生活を基本とした生活動作の維持・向上を目指します。

全国の生協では 2016 年から「生協 10 の基本ケア」の福祉事業への導入を始め、福祉事業を行う 54 生協（生協が母体の社会福祉法人含む）のうち、2019 年 9 月末現在で 30 の生協・法人が導入しました。

このたびの調査研究では、介護サービスの質評価に係る研究実績のある研究者らが、実査を伴う多様な方法によって多面的な検証を行い、「生協 10 の基本ケア」の重度化予防効果を実証しました。

### 「生協 10 の基本ケア」：調査研究によって実証された効果

1. 利用者の日常生活動作の中で下肢への加重や重心移動を行い、出来ることは自分で行うことなどに重点を置いた介助が心身機能の悪化を防止すること。
2. 利用者本人の意向を尊重し、利用者とのコミュニケーションや安心できる場づくりなどの関係性の構築が「認知機能」や「意欲」「社会的関与」の悪化防止に寄与すること。
3. 「生協 10 の基本ケア」を実施している群（実施群）と、していない群（非実施群）との比較で、食事・入浴・排泄のケアの質が高いことが示唆された。

日本生協連では、利用者とその家族が住み慣れた地域で自立した生活を継続できることを目指し、福祉事業を行う全国の生協へ「生協 10 の基本ケア」の導入推進を図るために、本調査研究を活用していきます。

また、調査研究の結果をもとにしながら、2021 年の介護保険制度改定に対する生協の提言を取りまとめ、利用者の自立支援・重度化予防につながる施策のさらなる充実を求めています。

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL : 03 - 5778 - 8106

<ご参考>

■ 生協の標準介護サービス「生協 10 の基本ケア」について

1. 生協が大切にしている介護

生協の介護では以下の 3 つを基本としています。

その 1 尊厳を護る その 2 自立を支援 その 3 在宅を支援

2. 「生協 10 の基本ケア」の考え方について

1 から 10 まで行っていくことで、トータルケアへとつなげます。

<p><b>1.換気をする</b></p>  <p>病気予防の基本として、換気を行います。新鮮な空気を取り入れ、衛生的な環境を守り、感染症を予防します。</p>	<p><b>2.床に足をつけて座る</b></p>  <p>日常生活がハビリという考えの下、足を使って立ち上がる習慣を身につける中で、トイレやお食事など自分でできることを増やします。</p>	<p><b>3.トイレに座る</b></p>  <p>トイレでの排泄は人間が守るべき尊厳の基本と考えます。布パンツでの暮らしをサポートします。</p>
<p><b>4.あたたかい食事をする</b></p>  <p>ご自身で調理したり盛りつけたり、親しい方と楽しく食べることで社会性を保ちます。誤嚥防止のために、食事前には口の体操も行います。</p>	<p><b>5.家庭浴に入る</b></p>  <p>湯船にゆったりつかる習慣は日本のすばらしい文化です。生活リハビリの効果を生かして家庭浴への入浴を大切にしています。</p>	<p><b>6.座って会話をする</b></p>  <p>安心感を与えられるように座って会話をします。共に時間を過ごし、日々の見守りを行います。</p>
<p><b>7.町内におでかけをする</b></p>  <p>慣れ親しんだ地域に出かけることは社会性や精神的な豊かさを保つために大切なことです。これまでの生活リズムを維持できるようにします。</p>	<p><b>8.夢中になれることをする</b></p>  <p>自分らしく、好きなことに夢中になれる機会や、居場所づくりに取り組みます。</p>	<p><b>9.ケア会議をする</b></p>  <p>自分の街で住み続けられるように、社会性と暮らしを守るケアプランをつくります。職員はチームでケアに取り組み、ご家族を含めサポートします。</p>
<p><b>10.ターミナルケアをする</b></p>  <p>元気な時から人生の最期まで、地域との連携でご自宅でのターミナルケアをサポートします。</p>		

■ 「生協 10 の基本ケア」詳細は 2018 年 5 月 22 日発表リリースをご覧ください。

URL : [https://jccu.coop/info/newsrelease/2018/20180522\\_02.html](https://jccu.coop/info/newsrelease/2018/20180522_02.html)

■ 「生協 10 の基本ケア」重度化予防効果に関する調査の詳細は、「在宅生活を支える重度化予防のためのケアとその効果についての既存指標を用いた調査研究」報告書をご覧ください。

URL : <https://jccu.coop/jccu/data/pdf/zaitakuseikatu.pdf>